

住まいの 福祉機器 ガイドブック

肢体不自由 編



自分でできることを増やすことや親の介助負担の軽減を図ることは、将来にわたってとても大切なことです。福祉機器は取り扱いが難しいと感じるかもしれませんが、設置方法や使い方を正しく理解することによって非常に役立つものになります。リハビリテーション専門職のアドバイスを受けながらすすめていきましょう。

